



4



5



8



6

9



1



2

3



## これぞ自然の神秘 湖面に現るアイスバブル

次は大沼へ。普段とは違う、全面氷に覆われた姿は圧巻です。この日はまだ積雪が少なかつたため一面が透明な氷。ツルツルしているので歩くのには一苦労でした。何度も転びそうになりながらも、滑る感覚が少し病みつきになります。

そして、氷の中に閉じ込められた気泡、アイスバブルを見ることできました。アイスバブルは湖

の底で発生したガスの泡が、湖面に届く前に凍ることのできる自然現象。今年は積雪が少なく、また風が強い日が多く氷が磨かれたためよく見えるんだそうです。新聞やニュースなどでも取り上げられ話題になりました。

私たちもアイスバブルを発見。ハート型を見ることができました。思わず写真を撮ることも撮ってしまおうなかわいさです。雪が積もると見られなくなってしまうアイスバブル。来年も見られるといいですね。

①ワカサギフライいただけます! ②ハート形のアイスバブルです。③晴れた日は青空に白い山が映えます。④ドリルで氷に穴を開けます。真すぐに掘っていくのが難しい! ⑤この日は大沼に移動した直後から吹雪に…。⑥このテントはその形からカタツムリとも言われます。この中は暖かい! ⑦青木さんから教えてもらいながら初めてのワカサギ釣りに挑戦。⑧2人で挑戦。テントは2人でもすっぽり入れました。⑨天気がいい日にはたくさんのテントが並びカラフルに。

## 冬の赤城山といえば! ワカサギ釣り

そしてお待ちかねのワカサギ釣りへ。青木別館の青木猛さんに付いてもらい、一から手順を教わりました。

まずはドリルで氷に穴を開けます。少し力が必要ですが、簡単に穴を掘ることができました。そして糸を引っ掛けるための道具を設置。餌も仕掛けて、いざ挑戦。手を柔らかく動かし、ワカサギを誘います。4人交代でしばらく挑戦するも、残念ながらワカサギは現れず…。またチャレンジしたいです。



自分たちでワカサギを釣れなかったので、ワカサギフライを注文。カリカリしていておいしかったです。次は自分で釣ったワカサギを食べたいですね。

ワカサギ釣りに必要な道具は、大沼湖畔のお店で販売やレンタルをしています。やり方も教えてもらえるので、初心者も安心です。

## 冬を楽しむならここ 楽しみ方は無限大

たくさんの冬のアクティビティを楽しめる赤城山。このように冬を満喫できる場所が前橋にあるということに普段あまり意識していなかったのも、もっとたくさんの人にこの魅力を知ってもらいたいと思えました。

前橋には、これらの赤城山の魅力を伝えるために活動する団体や組織がたくさん。観光地域づくりをする赤城自然塾や、山頂付近の住民などで構成されているAKAGIやる気塾などが、魅力を内外に広めています。

私たちワカモノ記者と同じように「こんな楽しそうな場所が近くにあるんだ」と改めて思った人が多いのでは。ドライブで変わりゆく景色を楽しむ、アクティビティを楽しむ、写真を撮って楽しむ。私たちが今回体験したこと以外にも、たくさんの楽しいことが赤城山には詰まっています。皆さんも、赤城山の楽しみ方を見つけてみませんか。

## 編集後記



千葉

スマートフォンの電源が切れてしまうなど、寒さを全身で感じた取材でした。



小内

とても楽しかったです。この魅力をもっと伝えていきたいと改めて思いました。



品川

山の天気急変ぶりにびっくり。ワカサギ釣りはまたチャレンジしたいです。



安清

子どもから大人まで楽しめる魅力がたくさん。もっと多くの人に訪れてほしいです。

スノーシューやワカサギ釣りなど、詳しくはこちらをチェック!



赤城自然塾 ☎027-212-2611

## 防寒対策はしっかりと!

たくさんのアクティビティが楽しめる赤城山。しかし、冬の山頂エリアはマイナス10度から15度まで気温が下がります。朝は天気が良くても、午後になって吹雪なんてことも。楽しむためには防寒対策が必須です。

